



地域・社会貢献活動

地域になくてはならない存在になることを意識し、地域社会の一員として何が出来るかを考え行動することが、モスの「約束」です。

Web

モスの食育プログラム

モスでは、地域の皆さまとの交流や豊かな食生活の提案を目指し、地域の小学校で近隣店舗のスタッフが出前授業を行う「出張授業プログラム」を実施しています。この授業では、座学で「食の大切さ」をさまざまな観点から学び、実習で“テリヤキバーガー”づくりを体験します。衛生の大切さや、おいしさを引き出すためのひと手間など、つくる楽しさとともに、主体的に食を考えるプログラムとなっています。授業後には、「感謝して食事をするようになった」などのうれしい声が届いています。先生役のスタッフにとっても、子どもたちとの交流を通してモスの仕事のやりがいや責任を再認識できる、貴重な機会となっています。



“テリヤキバーガー”づくりを体験

愛のモスボックス

1979年、モスバーガー白楽店[神奈川県]の募金活動がきっかけとなり、全国の店舗に募金箱「愛のモスボックス」を設置するようになりました。皆さまからの募金は公益財団法人アイメイト協会などに寄贈され、これまでに33頭の盲導犬が育ち、視覚障害者の社会参加と、社会に適應する手段としての自立歩行のお手伝いをしています。また2015年度は、東日本豪雨災害に対する募金活動も実施し、たくさんの方々からの善意が集まりました。



愛のモスボックス贈呈式

本社での取り組み

本社では社会貢献活動の一つとして、中学生や高校生の職場訪問を受け入れ、参加した生徒にモスのこだわりや、働くことの喜び、厳しさなどを伝えています。実際に執務室を見学して社員とコミュニケーションをとりながら、働くことやモスバーガーに対する質問の答えを得て、笑顔で帰っていきます。社員にも彼らの訪問が良い刺激になっています。また、使用済み切手やエコキャップの回収などを継続して行うとともに、2015年度からはベルマークの回収も開始し、1314.5点を東日本大震災の被災校への支援として寄贈しました。



中学生による職場訪問

店舗での取り組み

全国の店舗でも、地域貢献につながる取り組みを行っています。子どもたちが危険を感じたり困ったことがあったりしたときの手助けをする「こども110番の店」は、各地域の自治体や団体と連携しながら全国で登録を進めています。また、「災害時帰宅支援ステーション」として大災害時に水道水・トイレなどを提供する協定を全国の自治体と順次締結しています。



「災害時帰宅支援ステーション」ステッカー



環境活動

事業活動が持つ環境影響を意識しながら、地球環境保全に取り組むことが、モスの環境活動における「約束」です。

Web

省エネ活動

省エネ活動は、お客さまにとっての心地良さや企業活動を考慮しながら、エネルギーを効率的に使用することが大切だと考えています。2015年度は、おいしさと省エネの両立を目指し、コーヒーをエスプレッソタイプのマシンから、ペーパードリップ式抽出のマシンへと変更しました。日常の店舗活動の中でも、電気・ガス・水道のメーター計測による使用量の把握・検証、グリーンカーテンの設置や設備機器類の適正な維持管理などを通じ、チェーン全体の省エネルギー化を図っています。



ペーパードリップ式抽出に変更したコーヒー

モスバーガー グリーン大賞

2015年度は、グリーンカーテンをはじめとする各店舗の環境活動・社会貢献活動を表彰する「モスバーガーグリーン大賞」を新たに実施しました。グリーンカーテン・環境・社会貢献の3部門で募集を行い、すばらしい作品や活動の応募がありました。特に社会貢献部門では、個店での取り組みから店長会などで協力した活動、20年来の企業活動など、大小さまざまな事例が寄せられました。各部門の入賞事例はP21～22でご紹介しています。



ダブル入賞した鳴子店 [愛知県]

Web

廃棄物のリサイクルと発生抑制

店舗スタッフのコスチューム(制服)を10年ぶりに変更しました。変更にあたっては、デザイン・機能性のほかに環境負荷にも配慮し、レンタル方式を採用して確実にリサイクルできる仕組みにしました。食品に関しても、店舗から排出される廃食油などを中心にリサイクルを進めています。また、「セカンドハーベスト・ジャパン」*によるフードバンク活動を食品サポーターとして支援しています。これは企業にとっても食品を無駄にせず、廃棄物の発生抑制に寄与する活動です。

*日本初のフードバンク。2002年7月に法人格を取得。安全性が保証された食料を、生活困窮者に供給する支援活動を行っている。



新コスチューム

環境教育

2015年度は、店舗スタッフ向け環境教育ツール「ecoモス通信」を刷新しました。2ヵ月ごとのカレンダーを掲載し、フィルター清掃などの予定や実施記録を記入して各店で活用しています。読み物のテーマには、新しく施行された「フロン排出抑制法」など、最新情報も取り上げました。本部社員向けには、eラーニングによる環境教育テストを実施。「モスのコミュニケーションレポート」の内容やオフィスの環境活動について学びながら理解を深めています。



「フロン排出抑制法」をテーマにした「ecoモス通信」